HOKKAIDO UNIVERSITY

Title	北海道大学総合博物館ミュージアムマイスター ： 認定コースのご案内
Author(s)	北海道大学総合博物館ミュージアムマイスター事務局
Citation	2022年度
Issue Date	2022
Doc URL	https://hdl.handle.net/2115/84657
Type	book
File Information	MuseumMeister_2022.pdf

Hokkaido University Collection of Scholarly and Academic Papers : HUSCAP

GUIDEBOOK

MUSEUM MEISTER
— HOKKAIDO UNIVERSITY —

www.museum.hokudai.ac.jp

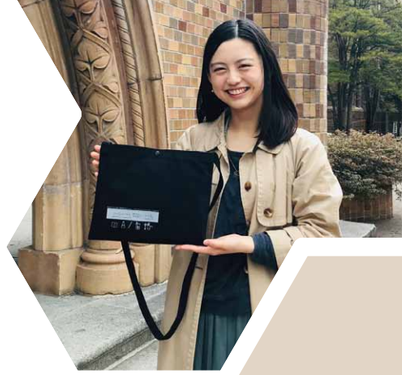
The Hokkaido University Museum
MUSEUM MEISTER

北海道大学総合博物館
ミュージアムマイスター
認定コースのご案内

2022年度

INDEX

01 多様に専門化された時代にこそ
求められるミュージアムマイスター
02 ミュージアムマイスター
認定コースの概要
03 開講科目一覧
04 開講科目の紹介
06 特集
「マイスターに聞いてみよう！」
08 登録申し込みについて



多様に専門化された時代にこそ求められるミュージアムマイスター

皆さんは、北海道大学の学生として、専門分野について深く学ぶこと目指し、旺盛な好奇心を持ち、努力を積み重ねながら日々を送っていることと思います。総合大学である本学では、様々な分野の先端的な研究・教育が行われており、次世代を担う皆さんの期待にこたえる専門教育の場ができています。

一方で、北海道大学が、建学以来掲げてきた理念のひとつに「全人教育」があります。総合博物館は、学科や学部の垣根を超えて、広い分野を学ぶことができる本学の恵まれた環境を最大限に活用した「全人教育」を実践したいと考えました。「博物館を舞台とした体験型教育」課程を設定し、広い分野の知識を講義や実習で習得するだけではなく、博物館が主宰する課外演習や活動を通じて実践的に学ぶコースとしてつくられたのが、「ミュージアムマイスター」認定コースです。

本コースでは、一定水準をクリアした学生を「ミュージアムマイスター」として認定します。しかし、平成21年度から始まったこのプログラムで、誕生したマイスターはまだ44名です。これは、この称号がいかに選りすぐられた人材に与えられるものであるかを示しています。本コースで我々が重視するのは、単に知識だけではなく、現代社会において必要とされる「社会貢献のための高い見識と情熱」、「人間社会の持続的発展のために貢献できる知恵」を持つ人材の育成なのです。これは、まさに、北海道大学が目指す「全人教育」の完成形であるといえるでしょう。皆さんもマイスターを目指して、より充実した学生生活を過ごしてみませんか。

2022年4月

北海道大学総合博物館長
小澤 丈夫

ミュージアムマイスター認定コースの概要

「ミュージアムマイスター認定コース」とは、課題探究能力、協調性と自主性を備え、問題解決能力、コミュニケーション能力、マネジメント能力を持ち、自己評価の視点を身に付けた北大生を認定する教育システムです。シラバスの中から、北大総合博物館が認定した科目を履修し、さらに、博物館が主催するプロジェクトや講座に参加して、必要なクレジット数を取得し、一定基準の成績を修め、プレゼンテーションを含む面談をクリアした学生を、北大総合博物館長が「ミュージアムマイスター」として認定します。北海道大学の全学部・全大学院の学生が受講可能です。

●受講方法

下記の通り科目種別（A〜D）の手続きに従って、受講申請を行ってください。大学院生が学芸員養成課程関連科目以外のABの科目を聴講希望する場合は、まず、ミュージアムマイスター事務局にお問い合わせください。

A 全学教育科目
（総合科目、一般教育演習、主題別科目）

高等教育推進機構・教務課に、指定の期日までに履修届を提出してください。

B 学部専門科目

他学部学生が履修する場合は、担当教員にミュージアムマイスター認定コースの一環として参加する旨をご連絡ください。（履修は所定の申請を行えば認められますが、卒業認定に関わるかは学部によって異なります。マイスターコースのクレジットは取得することができます。）

C 大学院専門科目・大学院共通授業科目

学部学生も3年生以上は履修可能です。その場合は、担当教員にミュージアムマイスター認定コースの一環として参加する希望を伝え、了承を得て、ミュージアムマイスター事務局にご連絡ください。（マイスターコースのクレジットは取得できますが、学部学生は単位を取得できないため、履修届を提出する必要はありません。）

D オフカリキュラム・プログラム

通常の授業枠を超えて博物館が独自に開講するプログラムです。内容は、企画展の展示解説やセミナー運営など様々です。受講生は自分の空き時間を利用してプログラムに参加します。博物館独自のプログラムであるため、関連情報はシラバスには掲載されていません。卒業認定に関わる単位は取得できませんが、マイスターコースのクレジットは取得できます。受講生募集は、博物館ウェブサイトや構内ポスターで前期・後期に各1回行います。今後の予定などはミュージアムマイスター事務局までお問い合せください。

◎クレジットについて

クレジットはミュージアムマイスター認定コース独自のものです。大学院授業やオフカリキュラムのプロジェクトで認定されるクレジットは、卒業認定に関わる単位とは異なります。また「ミュージアムマイスター認定コース」で必要な科目と「学芸員資格取得」に必要な単位は異なります。

●認定までの流れ

事務局に問い合わせ
開講科目の確認・登録手続き
（1年次より随時受付可）

↓

開講科目を履修

導入科目	ステップアップ科目	社会体験型科目
4クレジット以上	4クレジット以上	4クレジット以上

↓

全履修科目・クレジット数の確認
上記の各科目4クレジット、
合計12クレジット以上取得

↓

認定条件・基準GPAの確認
学部生＝当該年度学生の学年平均点以上
大学院生＝2.8以上、秀1つ以上（2014年度以前の新入生）
3.0以上、AまたはA⁺1つ以上（2015年度以降の新入生）

↓

事務局に認定申請
成績証明書、修了認定申請書※を持参
（3年次以降の申請が望ましい）

↓

書類審査・プレゼンテーションを含む面談

↓

認　定

※ 修了認定申請書は「ミュージアムマイスター 修了認定申請書」で検索、もしくはミュージアムマイスター事務局までお越しください。

開講科目一覧

●下記の科目情報は令和4年3月1日現在のものです。変更になる場合もありますので、開講学期・曜日・時限についてはシラバスや各掲示板も必ず確認してください。

MUSEUM MEISTER — HOKKAIDO UNIVERSITY —

	科目種別	授業名	開講時期	曜日（時限）	責任教員	クレジット数
導入科目	A 全学教育科目（総合科目）	［環境と人間］生物の多様性	1	水曜(5)	柁原 宏	2
	A 全学教育科目（総合科目）	［環境と人間］フィールド科学への招待	1	金曜(5)	四ツ倉 典滋	2
	A 全学教育科目（総合科目）	［環境と人間］「モノ」+「コト」+「ヒト」=北大総合博物館	1	木曜(5)	阿部 剛史	2
	A 全学教育科目（総合科目）	［人間と文化］アイヌ・先住民研究の現在	2	木曜(5)	山崎 幸治	2
	B 文学部専門科目	博物館概論	1	水曜(1)	佐々木 亨	2
	B 文学部専門科目	博物館教育論	1	木曜(1)	今村 信隆	2
	B 文学部専門科目	博物館資料論	1	金曜(5)	久井 貴世	2
	B 文学部専門科目	博物館経営論	2	火曜(5)	佐々木 亨	2
	B 文学部専門科目	博物館情報・メディア論	1	水曜(5)	久井 貴世	2
	B 文学部専門科目	博物館展示論	2	金曜(5)	山崎 幸治	2
	B 文学部専門科目	博物館資料保存論	1	火曜(5)	鈴木 幸人	2
ステップアップ科目	A 全学教育科目（一般教育演習）	フィールド体験型プログラム 一人間と環境科学一[1]	1	集中	長里 千香子	2
	A 全学教育科目（一般教育演習）	フィールド体験型プログラム 一人間と環境科学一[2]	2	集中	長里 千香子	2
	A 全学教育科目（一般教育演習）	International Archaeological Field School in Rebun Island	1	集中	加藤 博文	2
	A 全学教育科目（主題別科目）	［芸術と文学］学芸員から見た美術の世界	1	月曜(5)	吉崎 元章	2
	A 全学教育科目（主題別科目）	［芸術と文学］札響と音楽文化	2	木曜(5)	三浦 洋	2
	A 全学教育科目（総合科目）	［環境と人間］ヒグマ学入門	2	水曜(5)	増田 隆一	2
	B 水産学部専門科目	水圏生物学	春	火曜(3〜4)	河合 俊郎	2
	B 水産学部専門科目	魚類学	春	月曜(1) 水曜(2)	今村 央	2
	B 水産学部専門科目	魚病学	夏	火曜(1) 金曜(3)	笠井 久会	2
	B 水産学部専門科目	水族館学	春	木曜(3〜4)	田城 文人	2
	B 文学部専門科目	芸術学：芸術論の歴史 2022	1	水曜(4)	今村 信隆	2
	C 文学院専門科目	博物館・文化財研究特殊講義：博物館と市民・地域社会 2022	1	火曜(4)	佐々木 亨	2
	C 大学院共通授業科目	博物館学特別講義Ⅰ：学術標本・資料学	秋・冬	金曜(5)	首藤 光太郎	2
	C 理学院専門科目	自然史科学特別講義 Ⅳ：博物館工学 Ⅳ(1)	1	集中	西野 嘉章	1
	C 理学院専門科目	自然史科学特別講義 Ⅳ：博物館工学 Ⅳ(2)	1	集中	西野 嘉章	1
	D 総合博物館・オフカリキュラム	パラタクソノミスト養成講座	—	随時※	—	0.5〜1
社会体験型科目	C 理学院専門科目	博物館コミュニケーション特論（学生発案型プロジェクトの企画・運営・評価）	1	木曜(4)	湯浅 万紀子	2
	C 大学院共通授業科目	博物館コミュニケーション特論Ⅰ 学生発案型プロジェクトの企画・運営・評価	春・夏	木曜(4)	湯浅 万紀子	2
	C 理学院専門科目	博物館コミュニケーション特論（ミュージアムグッズの開発と評価）	2	水曜(4)	湯浅 万紀子	2
	C 大学院共通授業科目	博物館コミュニケーション特論 Ⅲ ミュージアムグッズの開発と評価	秋・冬	水曜(4)	湯浅 万紀子	2
	C 理学院専門科目	理科教育課程マネジメント特論	2	金曜(4)	山田 邦雅	2
	D 総合博物館・オフカリキュラム	学生参加プロジェクト（展示制作、展示解説など）	—	随時※	湯浅 万紀子	1〜2
	D 総合博物館・オフカリキュラム	卒論ポスター発表会（発表、運営）	—	2月下旬〜3月上旬	湯浅 万紀子	2

※ 受講者募集の案内は、北大総合博物館ウェブサイトに掲載されます

開講科目の紹介

導入科目

環境・人間・文化に関する基礎知識を学習する科目や導入的なフィールド体験型科目。
博物館の存在意義や活動についての基礎知識を学習する科目。

全学教育科目（総合科目）
- [環境と人間] 生物の多様性
- [環境と人間] フィールド科学への招待
- [環境と人間] 「モノ」+「コト」+「ヒト」=北大総合博物館
- [人間と文化] アイヌ・先住民研究の現在

文学部専門科目
- 博物館概論
- 博物館教育論
- 博物館資料論
- 博物館経営論
- 博物館情報・メディア論
- 博物館展示論
- 博物館資料保存論

ステップアップ科目

実物資料の扱い方やフィールドワークの方法を学習する科目や講座。
博物館の活動と運営について理解を深める科目。

全学教育科目（一般教育演習）
- フィールド体験型プログラム ―人間と環境科学―[1]
- フィールド体験型プログラム ―人間と環境科学―[2]
- International Archaeological Field School in Rebun Island

全学教育科目（主題別科目）
- [芸術と文学] 学芸員から見た美術の世界
- [芸術と文学] 札響と音楽文化

全学教育科目（総合科目）
- [環境と人間] ヒグマ学入門

水産学部専門科目
- 水圏生物学　・魚類学　・魚病学　・水族館学

文学部専門科目
- 芸術学：芸術論の歴史 2022

文学院専門科目
- 博物館・文化財研究特殊講義：博物館と市民・地域社会 2022

大学院共通授業科目
- 博物館学特別講義Ⅰ：学術標本・資料学

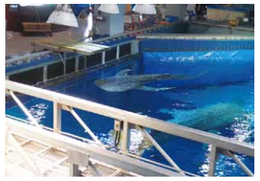
理学院専門科目
- 自然史科学特別講義Ⅳ：博物館工学Ⅳ(1)
- 自然史科学特別講義Ⅳ：博物館工学Ⅳ(2)

総合博物館・オフカリキュラム
- パラタクソノミスト養成講座

授業紹介

●水族館学

水族館をめぐる学問分野は非常に広範囲にわたっています。水産学、動物学、水質化学などの自然科学と、博物館学、経営学、教育学などの人文科学を総合的に理解することで、水族館とは何かということを学習します。また、水族館で実際に行っている研究活動や日常の仕事について、水族館の職員になるための過程についても紹介します。
本講義は、実際に水族館で活躍している方々が講師を担当します。今年度は鴨川シーワールド国際海洋生物研究所所長の荒井一利氏、大阪海遊館館長の西田清徳氏、沖縄美ら島財団水族館事業部統括の佐藤圭一氏、おたる水族館海獣飼育課係長の三宅教平氏を予定しています。
水族館職員を目指す学生にとっては、水族館の職員と接する機会ができるまたとないチャンスです。



●博物館学特別講義Ⅰ：学術標本・資料学

「博物館学特別講義Ⅰ」では各専門分野における標本・資料の意味、取り扱い方を理解します。具体的には、標本・資料の採取・収集法、保管法、利活用の技法、データ整理・公開法などについての知識や考え方を習得します。各分野の教員が週替りで講義をするオムニバス形式の授業で、自然史系として1）海藻、2）陸上植物、3）昆虫、4）昆虫データベース、5）魚類、6）哺乳類・鳥類、7）古生物、8）分子系統進化を、文化史系として9）考古学、10）動物考古学、11）言語学、12）民族学、13）標本史、14）映像・科学技術史を取り扱います。
学芸員資格のアドバンストコースとして位置付けていますが、同時に自然史・文化史を対象とした各研究分野への理解を深め、文理を融合した広い視野を持った教養人としての資質も身につけます。

社会体験型科目

学生が博物館での活動を通じて社会とつながる実践と評価を行う科目やプロジェクト。博物館の展示や場を活用したプロジェクトの企画・運営・評価に参加したり、学生の研究成果を市民に向けて発信して意見交換する。

理学院専門科目
- 博物館コミュニケーション特論（学生発案型プロジェクトの企画・運営・評価）
- 博物館コミュニケーション特論（ミュージアムグッズの開発と評価）
- 理科教育課程マネジメント特論

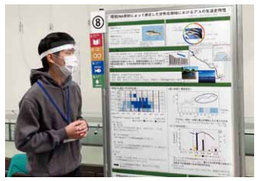
大学院共通授業科目
- 博物館コミュニケーション特論Ⅰ 学生発案型プロジェクトの企画・運営・評価
- 博物館コミュニケーション特論Ⅲ ミュージアムグッズの開発と評価

総合博物館・オフカリキュラム
- 学生参加プロジェクト（展示制作、展示解説など）
- 卒論ポスター発表会（発表、運営）

授業紹介

●卒論ポスター発表会

北海道大学を卒業するさまざまな学部の4年生が、4年間の研究の成果を大きな1枚のポスターにまとめて発表します。学会での発表とは異なり、市民や他分野の学生にも理解できるようなポスターを制作し、わかりやすく説明することが求められます。中間発表会を複数回行い、教員の指導を受け、発表会に臨みます。



参加者の声

◎情報を取捨選択し、更にデザインや色彩バランス、見やすさ、わかりやすさについて熟考するポスター制作は大変でしたが、三回の中間発表を通して客観的かつ的確な意見をいただき、ポスターを洗練させることができました。いかに聞き手を惹きつけられるか、研究の面白さを簡潔に伝えられるかという思いで臨んだ発表会当日は、想定以上の多くの市民の方々に発表を聞いていただき、嬉しく感じました。自分にとって大きな経験となっただけでなく、今後の研究活動を豊かにする貴重な機会となりました。

◎中間発表会では、研究内容を初めて話を聞く方にどこまでどのように伝えるべきかについて、今まで気づかなかった意見を多くいただきました。大勢の幅広い年齢層の方が来場され発表会当日は、オーディエンスに合わせて言い回しや内容を少しずつ調整することで、大変でしたが非常に生き生きした発表ができたと思います。興味を持たれた方々からは研究内容に即した体験やアイデアを伺うことができました。この発表会で得られた価値ある新鮮な経験を、自身の研究の発展と発信に活かしていきたいです。

●学生参加プロジェクト

市民に向けた大学博物館関連プロジェクトの企画・制作・運営・評価などに参加します。学生だけではなく、博物館教職員やボランティアと協働することで、コミュニケーション能力やマネジメント能力を養うことを目的としています。授業や普段の学生生活では味わうことのできない、貴重な社会体験の場です。

過去のプロジェクト： 企画展展示解説／卒論ポスター発表会の運営　他多数

受講者の声

夏季企画展の展示解説

◎展示室では、解説内容の充実度よりも来館者ひとりひとりに対する解説内容の選択や解説手法に関することに意識の大半を向けました。うまくいくと、解説中にも来館者の雰囲気や態度から興味関心の高まりをはっきりと感じられました。これは来館者の一種の「博物館体験」に私自身が関与できたことであり、とても新鮮で嬉しく感じました。さらに他解説員との交流を通しても積み重ねられていく自身の体験について考えると、博物館という場の提供するインフォーマルな学びの相互性を深く実感しました。

卒論ポスター発表会の運営

◎他の学部・学年の学生と協力する機会は普段は少なく、オンライン授業により更に他学生と協力する機会が失われているなか、発表会のポスターとプログラムの制作、当日の運営にグループで携わり、非常に良い経験ができました。発表会当日、4年生が生き生きと楽しそうに発表している様子と、来場者が熱心に発表を聞いて積極的に質問をしている様子がとても印象的でした。4年生が発表する姿を見て、3年後、自分がなりたい姿を見つけることができ、この活動に参加できて本当によかったと思います。

卒業生 マイスターからの message

徳丸 沙耶夏

株式会社トータルメディア開発研究所
西日本事業部　事業推進部

2017年度　理学院　修士1年次に
マイスターに認定

現在の活動状況と、現時点で考えるマイスターコースの意義

2019年から、博物館をはじめとする文化施設づくりの調査・構想・計画・展示設計・製作に係わる空間デザインの会社に勤めています。博物館開館に向けて、グラフィックや映像、ハンズオン展示の製作から照明位置の設定まで展示に関わること全てを取りまとめるプロジェクトを推進しています。業務では、学芸員の思いを聞き取り、どのように展示化するかを検討し、様々な業種の方と実現に向けて進めていきます。多様な年齢層の方と関わるマイスターコースの授業や展示解説などのプロジェクトで学んだ伝え方や姿勢、物事を実現化させていく手順は、仕事に役立っています。また、授業で博物館の展示内容と構成について何度も繰り返し学ぶことができたこと、展示制作に携わった専門の先生方に話を伺えたことで、私の中の博物館の一つの指標を作ることができました。

博物館での活動の思い出

ミュージアムグッズを開発する授業は大変でしたが、とても楽しく、やりがいがありました。専攻分野が違う学生と意見を出し合い、企画をまとめ、その後、製作に協力していただく会社の調査、費用検討などを乗り越えてグッズの実現を目指しますが、授業の中でもどのようにすればスムーズに検討が進むのか、悩むことが多かったことを覚えています。グッズが実現して店頭に並んだ時はとても嬉しく、開発したマスキングテープは今も会社の机に入れています。この経験を学生時代にできたことは私にとって財産です。

在校生へのメッセージ

博物館で活動できるチャンスを手に入れられるのがマイスターコースだと思います。博物館では多様な人が学び、楽しんでいますが、来館者ではなく企画する側となってイベントを開催したり、企画展の解説でもっと知りたいと思っていただけるように工夫したりすることは、これからの人生でなかなかない経験だと思います。「将来、博物館で働きたい」、「展示に関わる会社で働きたい」という思いがなくても、在籍する大学の博物館で自主的に活動する場があり、そこで得られる経験は、必ず自分の成長に繋がります。少しでも興味があれば、一歩、足を踏み出してみてください。

新 マイスターからの message

上村 麻里恵

2020年度
文学部　3年次に
マイスターに認定

マイスターコースでは、博物館の表舞台も裏方も経験することができました。卒論ポスター発表会の運営や展示解説の準備学習を通じ、「展示をする側」の収蔵品や研究対象にかける熱意を感じ取り、その豊富な知識の一部を学びとることができました。それと同時に、会場運営スタッフや展示解説者として現場に立つことで、「展示を見る側」の展示に関する関心、外部から博物館がどう見られているのか、という来館者側の視点を得る機会にも恵まれました。
総合博物館は研究施設でありながら大学の施設としては最も学外に開かれている施設だと私は考えます。博物館に親しんできた人もそうでない人もこの空間で学ぶことで、座学や一つの環境にいるだけでは不足しがちな、他分野の研究の動向や、自身が気づかなかった視点を得るという貴重な経験ができるでしょう。

高田 健太郎

2020年度
理学院　修士1年次に
マイスターに認定

マイスターコースでは基礎から実践まで、総合博物館の「モノ」「コト」「ヒト」に関する様々な学びの機会がありました。特に「ミュージアムグッズの開発と評価」では、他専攻の学生や博物館教職員、市民の皆さんとの出会いを通じて多くのことを学ぶことができ、自らの視野を広げることができたと感じています。準備期間や販売価格の制約がある中で、魅力的なグッズを作り上げるのは容易ではありませんでしたが、学生間で知恵を出し合い、教職員や市民の皆さんの協力を得て、なんとか実現に至りました。自分たちの開発したグッズがショップに並んだ際には言葉では言い表せないほどの喜びがあり、困難を乗り越えた経験は大きな自信となりました。これからマイスターコースに取り組む皆さんにも、「博物館ならでは」の良き学びと出会いがあることを願っています。

登録申し込みについて

北大総合博物館のウェブサイト
（https://www.museum.hokudai.ac.jp/education/museummeister/）
からダウンロードし、以下の記入例を参考にして、
必要事項を記入してください。

※注意事項

黒のボールペンではっきりと記入してください。
書き間違い、記入漏れ等がないか、もう一度しっかりと見直してください。

ミュージアムマイスター認定コース
登 録 申 込 書

ミュージアムマイスター事務局　行

整理番号

私は、ミュージアムマイスター認定コースに下記の通り登録を申し込みます。

フリガナ　ホク　ダイ　タ　ロウ
氏名　北 大　太 郎

〒 060-0810　フリガナ　サッポロシ　キタク
札幌市北区
連絡先住所　キタ10ジョウ　ニシ8チョウメ　ホッカイドウダイガク
北10条西8丁目 北海道大学

申し込み年月日　2022年 4月 20日
生年月日　西暦 2003年 12月 1日
性別　(男)・女
学部・学年　文学部 1年
学生番号　00000000
電話番号　011-706-4704
Eメールアドレス　taro@museum.hokudai.ac.jp

履修科目について　リーフレットを参考に履修科目の左側の欄に、該当するマークを記入してください。
既に履修した科目＝◎　現在履修している科目＝○

導入科目	ステップアップ科目	社会体験型科目
[環境と人間] 生物の多様性	◎ フィールド体験型プログラム ―人間と環境科学―[1]	博物館コミュニケーション特論（学生発案型プロジェクトの企画・運営・評価）
[環境と人間] フィールド科学への招待	フィールド体験型プログラム ―人間と環境科学―[2]	○ 博物館コミュニケーション特論 I 学生発案型プロジェクトの企画・運営・評価
[環境と人間] 「モノ」+「コト」+「ヒト」＝北大総合博物館	International Archaeological Field School in Rebun Island	博物館コミュニケーション特論（ミュージアムグッズの開発と評価）
○ [人間と文化] アイヌ・先住民研究の現在	[芸術と文学] 学芸員から見た美術の世界	博物館コミュニケーション特論 II ミュージアムグッズの開発と評価
博物館概論	[芸術と文学] 札響と音楽文化	○ 理科教育課程マネジメント特論
博物館教育論	[環境と人間] ヒグマ学入門	学生参加プロジェクト（　　）
博物館資料論	水圏生物学	卒論ポスター発表会（発表、運営）
博物館経営論	魚類学	
博物館情報・メディア論	◎ 魚病学	
博物館展示論	水族館学	
博物館資料保存論	芸術学：芸術論の歴史 2022	
	○ 博物館・文化財研究特殊講義：博物館と市民・地域社会 2022	
	博物館学特別講義 I：学術標本・資料学	
	自然史科学特別講義 IV：博物館工学 IV（1）	
	自然史科学特別講義 IV：博物館工学 IV（2）	
	パラタクソノミスト養成講座	

システム管理者記入欄　認証年月日　西暦　年　月　日　登録番号

科目名の左側の欄に、該当するマークを記入してください。
該当する科目がない場合には、未記入でも構いません。

既に履修した科目＝◎
現在履修している科目＝○

メールアドレスには、なるべくPCメールのアドレスを記入してください。メールアドレスは、ハイフン、アンダーバー、ドット等をはっきりと記入してください。

必要事項を記入した登録申込書を持参のうえ、
ミュージアムマイスター事務局に提出し、登録手続きを行ってください。

北海道大学総合博物館
ミュージアムマイスター事務局

〒060-0810 札幌市北区北10条西8丁目
北海道大学総合博物館2階 研究支援推進員室
E-mail: suishin@museum.hokudai.ac.jp
TEL & FAX：011-706-4704　内線（4704）
開室日時：火～金 10:00～16:00